

平成29年度広尾高校卒業生 進路状況

今年度の広尾高校卒業生は、次のような進路結果となりました。

家庭学習の習慣づけと基礎学力の充実を目的に、中学校の「パワーアップノート」から引き続き、高校では「ブラッシュアップノート」として継続的に取り組んできました。また、放課後に平日講習を積極的に利用したり、長期休暇中に代々木ゼミナール札幌校の夏期講習会に、勉強合宿として参加したり、進路実現を目指しました。

さらに、言葉遣いや挨拶、身だしなみなど、社会に出てから困らないよう、日常生活の中で気を配りました。

みなさんがそれぞれ選択した道で活躍できることを祈っています。この6年間で培ったことを力に、頑張ってもらいたいと思います。



◆ 進学状況 進学希望者 24名

進路区分	合格者数	合格先
国公立大学	2	釧路公立大学、名寄市立大学
私立大学	7	北海道文教大学、北海道医療大学、北海道科学大学 札幌大学、北海学園大学、札幌学院大学、酪農学園大学
私立短大	1	帯広大谷短期大学
看護学校	2	市立室蘭看護専門学院、駒沢看護専門学校
専門・専修学校	13	大原簿記情報専門学校、大原法律公務員専門学校、日本工学院北海道専門学校(2) 北海道ハイテクノロジー専門学校、エステティックビューティー札幌 北海道美容専門学校、道東ヘアメイク専門学校、札幌ビューティーアート専門学校 経専調理製菓専門学校(2)、札幌医学技術福祉歯科専門学校 北海道スポーツ専門学校
進学者合計	のべ人数25 (内定者数23)	内定 95.8% (昨年同期期 83.9%) 注) 進学状況は3月8日現在のものです。

◆ 就職状況 就職希望者 13名

進路区分	内定者数	内定先
町内	6	広尾町役場、拓殖工業(株)、日通帯広(株)、高堂建設(株) (株)ホリタ、(株)イタックス
管内	4	(株)福原、大平原観光ホテル、帯広至心寮 (有)ホテル十勝屋
道内	2	鶴雅リゾート(株)、日高信用金庫
就職者合計	12	内定 92.3% (昨年同期期 100.0%) 注) 就職状況は3月8日現在のものです。

《編集後記》今年度は、これが最後の発行になりますが、中高一貫の取り組みを町民の皆様にご理解いただけるように、部員全員で広報活動に取り組んでまいりました。記事に関してご協力いただいた多くの皆様に感謝申し上げますとともに、広尾町中高一貫教育がますます成果を上げることができるよう、さらに努力していきたいと思います。今後ともご愛読下さいますようよろしくお願いいたします。(中高一貫広報部員一同)

中高一貫教育だより

広尾の子どもは広尾で育てる

第50号

平成30年
3月発行

《発行者》

広尾町中高一貫
教育推進委員会



「自分の未来のために」
高校生による進路講話



2月5日(月) 広尾中学校体育館において、「中高一貫進路講話」が開催されました。講話を行ったのは石橋海音さん(名寄市立大学合格)、吉田歩夢さん(北海道文教大学合格)、柏原佑香さん(駒沢看護専門学校合格)、増田隼人さん(広尾町役場)の広尾高校3年生4名です。この講話は、進学や就職が内定した生徒が、中学生に向けて自身の体験談を伝えることで、早くから将来の夢を抱いてもらうことを目的に平成十八年度から行われています。

講話の中で、皆さんが訴えていたのは、

① 学校生活は規則正しく過ごすべし。

② 苦手克服の努力を怠るべからず。

③ 部活動、生徒会活動は3年間継続すべし。

特にこの3つが大切だと話していました。

中学生は、自分の未来の姿を思い浮かべながら、真剣に耳を傾けていました。

SCC(中高乗り入れ授業)の記録

「SCC」は、中高の乗り入れ授業のことです。「S」は「Secondary」で「中等教育」、
「C」は「Collaborated」で、「協力し合う」、もうひとつの「C」は「Class」で「授業」
「中高で協力し合い、授業を作る」という意味です。

前号以降に行われた SCC 授業について、ご紹介いたします。
いつもと違う雰囲気で行われる授業は、生徒も教員も新しい学びがたくさんあります。



2月21日（水） 広尾中学校

間近に迫った高校入試の対策として、これまで学んできた内容を総復習しようということで、広尾高校の鹿内先生が中学校3年生に「入試対策授業」を行いました。実際に問題を解いて、詳しい解説をするという形で行われました。

中学生は真剣に問題に取り組み、熱心に先生の話聞いていました。



2月23日（金） 広尾中学校

高校生が中学生に教える「チューター授業」が行われました。広尾高校2年生アカデミックコースの23名が、広尾中学校の3年生の授業に入り、それぞれが担当になった中学生に問題の解き方を教えていました。自分が理解していることを別の相手に教えることで、さらに深い理解につながった高校生と、自分だけの先生ができた中学生は、お互いに有意義な時間を過ごすことができました。



中高一貫生徒会交流

生徒会活動の交流を通じて、リーダーとしての資質の向上や生徒会活動の活性化を図ることを目的に、中高生徒会交流が広尾高等学校にて2回にわけて行われました。1回目は広尾中学校・広尾高等学校それぞれの生徒会活動を振り返り、今年度のテーマを「学校と地域の活性化」に設定しました。このテーマを各校に持ち帰り、どんな生徒会活動を行うことができるかを考えてくることになりました。2回目は、各校で考えた学校も地域もさらに活性化させる生徒会活動の取り組みについての意見交換を行い、それを全体で話し合いました。

【 広尾中学校 生徒会長 松長 昇太郎さんの感想 】

わたしはこの中高一貫活動において、主に地域との交流をテーマとした活動をしました。テーマをもとに中学校と高校の生徒会がそれぞれ意見を話し合いました。この話し合いの中で楽しかったことは、高校生が考えてくれたアイスブレイクです。アイスブレイクの中でちょっとしたレクをやったので、この後の話し合いがスムーズになり、高校生と楽しく話し合うことができ、より良い活動になったと思います。



【 広尾高校 生徒会長 糸井 瑠星さんの感想 】

中高一貫の取り組みの一つであるこの生徒会交流は、中学生、高校生が同じ目線で自分たちの学校や広尾町について考え、話し合うことのできる貴重な時間だと思います。

このような取り組みは生徒のコミュニケーション能力や主体性などの向上にも繋がると思っていますので、今後、この取り組みが学校全体へと広がってほしいと感じました。

